

「グラスハウスの廃止は不当！存続すべき」

政津クラブ 秋山幸則



質問↓グリーンヒルズ津山が県立の施設として、総額八十四億円をかけて建設されて十年が経過し、西日本では類を見ないグラスハウスは三十二億円を投じて建設され日本有数の建物、施設内

容である高い評価を得ており、市内外の多くの県民が健康維持、増進、憩いの施設として利用しているグラスハウスを譲渡、廃止の方針は不当である。県とどのような交渉をしてきたのか。利用者数や市民の生の声を把握しているのか。

答弁↓グラスハウスの利用者総数は年間十五万人で廃止には反対である。建設経過や管理協定書を見ても、類似施設が多い等の理由で譲渡、廃止の最終方針に正当性はなく納得できない。県有施設として、今後も県が維持するよう強力に交渉していく。

なぜ、今、三十人学級か

日本共産党津山市議団 久永良一



質問↓子供をとりまく状況は悪化し、教師は多忙化するなど、津山の学校教育も、様々な課題、問題を抱えている。このような中で、三十人学級は一人一

人に目が行き届き、きめ細かな指導で、学力の向上、望ましい集団づくりに効果がある。いじめ、不登校、暴力を減少させ、子供、教師、保護者からも高い評価がある。保護者と教師がよく理解しあい、子供の教育で、共同する点でも有効だ。三十人学級についての認識は。

教育長↓三十人学級の有効性についての客観データを持ち合わせていない。県の基準では、認められていない。財政上も厳しい。

質問↓県は市町村独自の実施を容認し、玉野市で実施している。

しあわせ大國つやまの実現に向けて

津山新星会議 吉田耕造



質問↓企業誘致活動も必要であるが、この経済状況下では、立地企業に対して市の支援制度や施策はないのか。
答弁↓一定規模の雇用を伴う増設に対して固定資産税の免除などの制度がある。企業訪問を通じニーズ等をお聞きして、

新たな支援制度の策定は必要であると感じている。

質問↓津山陸上競技場でJリーグ（ファジーノ岡山）の試合が開催できるのか。
答弁↓Jリーグ公認スタジアムは、観客席一万人以上の固定席など、多くの高い条件がある。津山市はファジーノ岡山のホームタウンであり、地元開催の何試合かは、Jリーグ公認スタジアムでなくても可能性はある。

質問↓藩主斉民や箕作・宇田川の業績を全国に発信し、知的観光の考えは。
答弁↓独自の素材を旅行会社に提案したい。

雇用不安がないよう対応を

市民と歩む会 秋久憲司



質問↓都市整備公社が運営している「ふれあいサロン」が東京の市民団体に、「神楽尾公園」が民間事業者に来年度から指定管理者制度により管理が委託

される。そこで働いている職員からは「引き続き働き続けられるのか、また契約が切れる五年後はどうなるのか」と雇用を心配する声があがっている。あばグリーン公社でも二施設（もえぎの里・あば温泉）が同様な状態である。働いている人に雇用不安がないよう、市は委託を受けた業者とどのように調整していくのか。

答弁↓「ふれあいサロン」や「もえぎの里」などでは指定管理者の募集要項等で、現在の職員に「引き続き働きたい」との意思がある時は継続雇用をすることを確認している。引き続き、雇用されるよう努力していきたい。